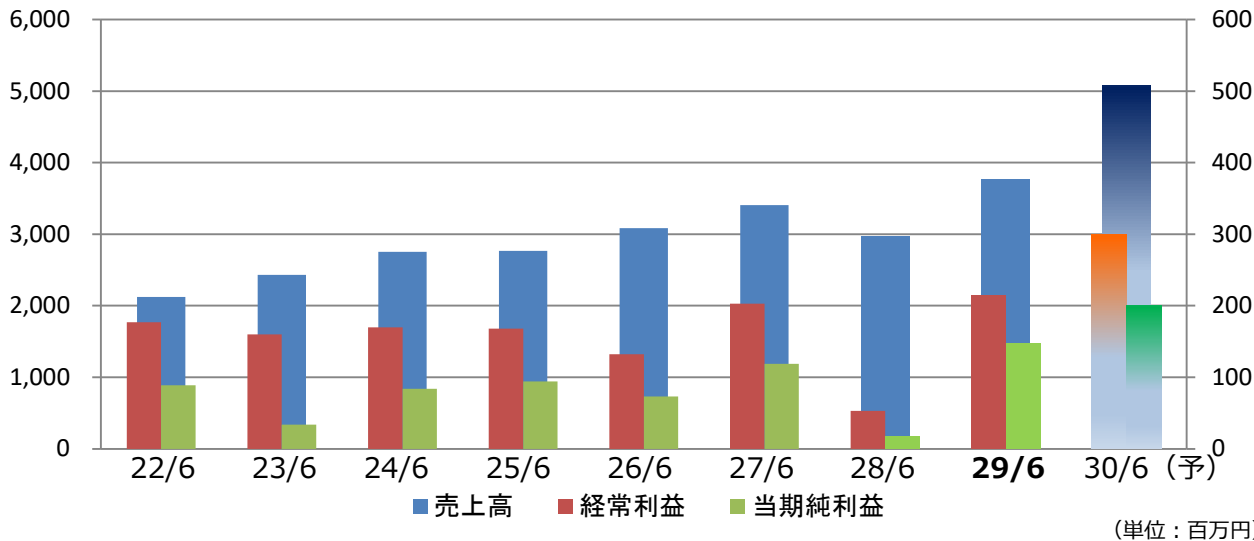


平成29年6月期決算説明資料 (No. 1)

売上高3,765百万円、経常利益215百万円。売上、利益ともに過去最高。前年度から大幅なV字回復を達成。平成30年6月期はさらに増収増益を見込む。



	22/6	23/6	24/6	25/6	26/6	27/6	28/6	29/6	30/6 (予想)
売上高	2,125	2,433	2,752	2,766	3,086	3,407	2,974	3,765	5,080
経常利益	177	160	170	168	132	203	53	215	300
当期純利益	89	34	84	94	73	119	17	147	200

■ 当期の事業報告

熊本地震後の復興支援策を展開

熊本地震緊急支援キャンペーンIII
3LDK平屋プラン 47.9㎡ (約 51坪)
1,388万円+税特約 200万円OFF 1,000万円
耐震等級 3. 省工等級 4 対応
各種設備仕舞込み
■ 耐震ボード
■ 壁・柱に地震補強ガラス
■ 断熱サッシ
■ 防犯目録付キッチン
■ 防犯目録付トイレ
■ 洗面脱衣所

SNS活用での効率的集客

LINEで30%OFF
ご予約ください
0120-443-559
毎月6万円キャッシュバックいたします
12/17・18
12/24・25
受付はこちらの2会場

配当の増配を決定

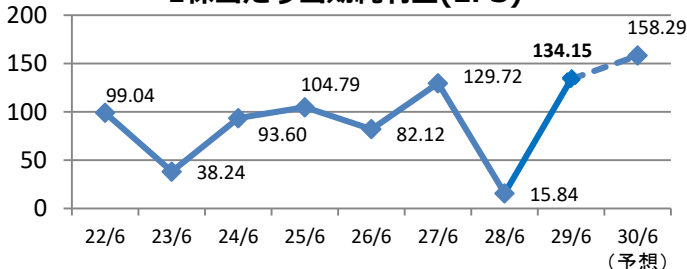
	中間	期末	合計
28年6月期	—	10円	10円
29年6月期	—	20円	20円
30年6月期(予)	12.5円	12.5円	25円

株主優待券の変更を決定

(変更前) 100株以上、MUJI GIFT CARD 500円分

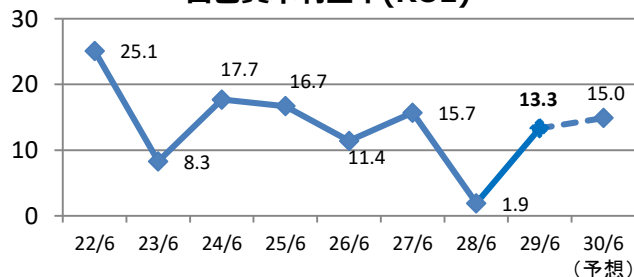
保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	クオカード 1,000円分
1,000株以上 5,000株未満	クオカード 1,000円分及び 投資用アパート建物本体価格1%割引券
5,000株以上 10,000株未満	クオカード 1,000円分及び 投資用アパート建物本体価格2%割引券
10,000株以上	クオカード 1,000円分及び 投資用アパート建物本体価格3%割引券

1株当たり当期純利益(EPS)



(注) 当社は、平成26年5月11日付で株式1株につき1,000株の株式分割を行っております。上記では、平成22年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した場合の1株当たりの指標の数値を記載しております。

自己資本利益率(ROE)



※平成30年6月期通期業績予想につきましては、平成29年8月10日に発表しました「平成29年6月期決算短信」の数値に基づいております。また、本資料は資料作成時点で当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経営環境の変化等により大きく異なる可能性があります。

平成29年6月期決算説明資料 (No.2)

■ 次期の見通し

当社の主要販売エリアである熊本県においては、平成28年熊本地震による復興へのニーズが高まっております。総務省消防庁の2017年6月14日発表資料によると、この熊本地震での被害は、全壊：8,671戸、半壊：34,202戸、一部損壊：149,388戸を数え、半壊以上を大規模半壊と定義するならば合計42,873戸となり、この数は熊本県の年間の持家新設着工数（約4,500戸）の約9.5倍に値します。次期においても当社はこの復興支援に全力で取り組んで参ります。平成29年9月に、SE構法での熊本南店オフィスの開設を皮切りに、同9月に熊本県では初の「平屋だけの総合展示場」が熊本県八代市に開設されることをうけ、出店を行います。また、平成30年4月には、熊本県合志市に新設される総合展示場へ出店を行います。加えて、VR（バーチャルリアリティ）を活用した新しい住宅見学会をスタートすることで、「注文住宅は自分の希望する建物が完成するまで、高さや奥行き等がわからない」といった注文住宅ならではの悩みを解決し、お客様からの安心と満足度を高め、多方面からの集客を獲得し、販売を拡大してまいります。

なお、当社は平成28年9月27日開催の第19期定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、「取締役会の決議により、毎年12月31日を基準日として中間配当をすることができる」旨、定款に定めておりますので、次期より中間配当を行ってまいります。次期の1株当たり配当金は、中間配当金12円50銭と期末配当金12円50銭とをあわせて年間配当金25円を予定しております。

■ 今後の事業戦略

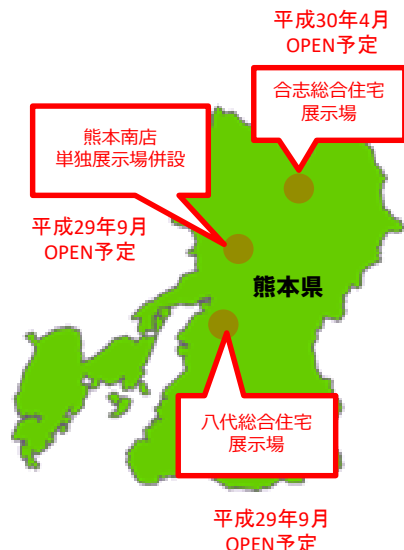
営業拠点の盤石化／新しい見学会のスタイル

熊本地震後、お客様の住まいを見学するスタイルが一変し、「いつでも検討できるわかりやすい場所にある会場」が必要となりました。そのニーズにいち早く応えるため、国道3号道沿いに新たに「熊本南店（単独展示場併設）」の開設や、総合住宅展示場（八代・合志）への出店を行ってまいります。これにより営業エリアの拡大に加え、安定した集客を得ることで営業拠点の盤石化に努めてまいります。加えて、「VR」を活用した新しい住宅見学会のスタイルを設け、全てのお客様に対し、満足度の高いサービスに尽力してまいります。

▼平成29年4月に新設した「平屋」の単独展示場。同年9月には「熊本南店」を併設する。



▼「VR住宅見学会」
ショッピングモール等の一角をお借りし、複数の住まいの体験会を実施。奥行きや吹き抜けの高さ、家具や設備の高さなどを歩きながら体験できる。



「生活創造企業」としての事業拡大

今後は単一戸建事業から脱皮し、様々な暮らしを提案する『生活創造企業』として取り組んでまいります。「投資用不動産の企画・販売」「老人ホームの建築」「シェアハウス」などにも着手し、事業領域の拡大に注力してまいります。

投資用不動産（アパート）

地震の発生後、熊本県下では共同住宅も不足しております。デザイナーズブランドとして入居率が高いものを商品開発。かつ木造による低価格を実現することで、オーナーメリットの強い投資用不動産を提案してまいります。

老人ホーム

厚労省によると今後65歳以上の高齢者数は、2025年には3,657万人となり、2042年にはピークを迎える予測（3,878万人）。また、75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加していき、2055年には、25%を超える見込みです。デイサービス、小規模多機能型居宅介護など様々なニーズに対応してまいります。

シェアハウス

既存の外国人向けや若者向けに限らず、将来的には「家庭を持たない」というような新しいライフスタイルの変化にも対応していきたいと考えます。この場合、共通の価値観を持つ方々が住まう共同住宅が必要になる時代が来るとも考えています。

▼デザイナーズアパート（3LDK×8戸）

